

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長

土肥 直文

皆さま、こんにちは。今年もまた例年と変わらず猛暑の毎日ですが、住民の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。ここにファミリー～みむろ～第33号をお届け致します。

ここでまず始めに、がんの患者さんとお家族の方にお知らせがあります。初めて「がんです」と言われた時、または「再発です」と言われた時、どうすればいいのか分からなくなってしまうと思います。そんな時に、身体のこと、気持ちのこと、仕事のこと、生活のこと、お金のことなど、なんでも相談できる「がん相談支援室」を当センター1階のコンビニ前に設置しました。がん看護を専門とする看護師や相談員があなたの悩みをお聞きします。医師や看護師から「がん相談支援室」に行くように案内された時だけでなく、ご自身で相談したい時にも、お話を聞かせていただきます。ご本人だけ、またはご家族だけでも構いません。この「がん相談支援室」を必要とされる皆さまのご利用をお待ちしております。(この冊子の裏表紙の「がん相談支援室からのお知らせ」をお読みください。)

さて、今号の「ファミリーみむろ」は、睡眠時無呼吸症候群と足の血管病のお話です。一緒に寝ておられるご家族に「夜中に息がとまっていたよ」と言われたことのある方は必読です。また、50メートル歩いていると、ふくらはぎが痛だるくなって、立ち止まってしまうけれども、しばらく休んでいるとまた歩けるようになるという方は、足の血管病の可能性がります。このファミリーは、どなたでも、お持ち帰りいただけます。外来の待ち時間だけでなく、ご自宅に持ち帰ってゆっくりお読みください。

最後に、これからしばらくは暑い毎日が続きますが、体調を崩されませんように、外出時の水分補給はもちろん、屋内であっても十分に温度・湿度に注意して元気にお過ごし下さい。